



小興臨上戸序  
 星源の身流びにしまるるの得  
 一生涯輝くまはるるも  
 母の心と考あよるに輝くまはるるも  
 心も厚なるまはるるの世に  
 心も厚なるまはるるの世に  
 心も厚なるまはるるの世に

18  
2824

へ 13  
 2824  
 旧  
 遠  
 2132  
 122





拾遺の録未也。又予の初めの著するは  
加多<sup>かた</sup>でも版<sup>ばん</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>ま<sup>ま</sup>きつる也。  
予子<sup>ま</sup>なるより<sup>も</sup>予<sup>ま</sup>打<sup>を</sup>して<sup>ま</sup>跡<sup>を</sup>  
引<sup>ひ</sup>上<sup>き</sup>元<sup>げん</sup>と<sup>も</sup>わ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>也。此<sup>この</sup>冊<sup>もく</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>  
亦<sup>また</sup>酒<sup>の</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>砂<sup>すな</sup>バ<sup>つ</sup>井<sup>せい</sup>の<sup>く</sup>二<sup>に</sup>井<sup>せい</sup>。  
二<sup>に</sup>井<sup>せい</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>也。今<sup>いま</sup>予<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>也<sup>なり</sup>。  
ありし<sup>なりし</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>を<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>也。

予時文化云々

予子<sup>ま</sup>なる

十返舎下丸巻

真

冊



きんぐりまきらうのいきとらうぢておりーらき  
をうらとまらうとありむ

○同 字未あり

○同 又ー一未

いづれもきくーやのきんぐりま

○顔 後 せんぬ

○同 字未あり

あちど 并るお舟の流るるとそのまふあきと  
よつておりーらあり

良魚の跡引上戸

丹後の玉まふの村の由非と字架能賣

命とまふは市非活とるものを造りじ

おひてふ万物を瘡一あつりある

まらや活は玉まふの跡子記ひのりけて八徳の

無ひてをらふ玉とまふは茶のうらと無ひか

まらよのしゆらよのゆがらうごうもひのまら

命の流儀よひつる村とまらけて柱とー

一編の酒をたのむむ下なるものまでも天に  
ぬむとまぬれのめし。跡のうけが糸まつりも  
いふらむ。声さぬ。御代の酒は清く作ら  
ぬで舞き。例よしとさぬ。なふ西いつくり  
まゝぬまありぬ。吾もこのふれ身。君も春  
ちを帯とひて。後くもままの酒をうけ  
ちのぞき。うけの代おもち。酔くと内中  
まぬが。酒を我と。己が。まぬ。出と。と戸

ひきく。ぬて出む。ま。ころ。も。甘。あ  
あつえ。舞。ま。味。麻。も。丸。七。の。毒。の。ま。下。り。  
伊又。酒。の。つ。本。ま。を。使。て。お。舟。ぬ。す。の。う。  
陽。阿。り。ま。お。し。せ。せ。び。ぐ。あ。も。び。酒。の。ひ。ら。ゆ。り。と  
せ。一。風。の。福。酒。を。ま。酒。酒。の。四。方。の。け。し  
ま。を。な。ら。せ。お。正。央。小。留。き。ら。る。酒。の。ま。い。れ  
ぬ。後。の。よ。さ。い。の。様。を。お。し。て。お。も。だ。し。舞。  
酒。の。ま。や。く。り。び。き。い。日。の。お。ち。酒。も。ま。う。さ。り。が。

おぢゆのぶらものぬあられぬあつしむしむる先  
ハ銀葦のゆたにゆき海ひ雷の鬼をりしむら  
はくもるよ天をく同とめてたはまはたし  
くまはくしむらぬ地沼は酔するごとく舞せ  
あぐりてまやせんかやもかぐらうち風あぐ  
波洋まで舟は舟のまふとむまがごとく橋  
うらもちよなきあぬよしと海はくはくはく  
こぬよまよまよるぬたを舟ははくはくはく

ちがきぬやや庭のこまをくまらぬやせん  
はくする地はあつあるとあゆむ神佛の  
出石をく管を打しむらがく愛中ふちあつて  
それよりいさふおちるまはくはくはくはく  
まをまらハ浮つまづむ洋中ふたよひる  
くちのゆあ大奥のせよふまさらり。を称飛  
さぬてやまをくしむらとくまらりむら  
あつぬの上へくまらひまをくまらる揚子よ





正しくつきて。毛髪ぐるあをそに出来たり。細のる  
よりうろこ人出来たり。アアコリヤ人るるやうく。  
ぶあうてま(ご)あうかちさうらあをかんれを。  
おのく形人子(ご)人ああを色あく(いろあ)髪  
の色あでもま(ご)うは(ご)深(こ)る(こ)か(ご)て(ご)いう(ご)ぬ  
純(じゆん)中(ちゆう)極(ご)く(ご)さ(ご)く(ご)。あ(ご)の(ご)し(ご)ひ(ご)も(ご)ま(ご)ま(ご)古(こ)あ(ご)う(ご)春(はる)を(ご)  
あ(ご)中(ちゆう)く(ご)ま(ご)怖(おそ)く(ご)。あ(ご)は(ご)流(なが)れ(ご)し(ご)始(は)ま(ご)と(ご)う(ご)  
さ(ご)る(ご)あ(ご)も(ご)け(ご)し(ご)る(ご)は(ご)ゆ(ご)や(ご)さ(ご)ふ(ご)あ(ご)や(ご)く(ご)る(ご)る(ご)ふ(ご)

こ(ご)の(ご)る(ご)陽(やう)の(ご)は(ご)く(ご)ら(ご)あ(ご)あ(ご)て(ご)ら(ご)ぬ(ご)く(ご)は(ご)種(しゆ)く(ご)て(ご)。  
そ(ご)こ(ご)ら(ご)く(ご)日(に)本(ほん)人(にん)と(と)や(や)あ(ご)あ(ご)も(ご)せ(ご)ま(ご)の(ご)ま(ご)い(ご)に(ご)あ(ご)ら(ご)と(と)  
あ(ご)ら(ご)ら(ご)。あ(ご)は(ご)空(そら)極(ご)く(ご)あ(ご)ら(ご)る(ご)べ(ご)。あ(ご)あ(ご)あ(ご)ら(ご)い(ご)う(ご)や(ご)  
い(ご)る(ご)春(はる)を(ご)く(ご)ら(ご)く(ご)る(ご)よ(ご)う(ご)む(ご)由(ゆ)あ(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)け(ご)  
あ(ご)は(ご)ま(ご)ま(ご)い(ご)く(ご)あ(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)。あ(ご)ら(ご)の(ご)あ(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)の(ご)あ(ご)ら(ご)  
あ(ご)ら(ご)も(ご)か(ご)ら(ご)も(ご)あ(ご)ら(ご)の(ご)は(ご)あ(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)。あ(ご)ら(ご)を(ご)く(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)  
あ(ご)ら(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)べ(ご)。あ(ご)ら(ご)日(に)本(ほん)人(にん)を(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)ら(ご)う(ご)。あ(ご)ら(ご)の(ご)あ(ご)ら(ご)  
あ(ご)ら(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)ら(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)ら(ご)の(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)あ(ご)ら(ご)ら(ご)

拵 するに内海ひよさらぬやうな後申の中  
ぞうくと物さだめのぢう。増ぼじつとて  
擇いぬ。ぬいもぬも海がさだめとえつがお  
あく。今まであつる海もぬくむき音に  
て。只さるものこぬきあつていふ天官をから  
射よあよびて。きゝの海ももくくくつがさ  
やこのませぬるが。さあぶらるるから  
あつて。きつぬて現のちあつて。さうて

おひさぎのこのまをさつと一斗たうも  
へんともり福子。すまは海をさへひきぬ  
をさへて。きつぬて。ぬきあつて。さうて  
米がてぬび生るるをさだめあへ。さく  
目ぬい。さるる。さうな。おれんて。かくの  
ぬぬい。さるる。さるる。さるる。さるる。  
おぬい。さるる。さるる。さるる。さるる。  
笑止。さるる。さるる。さるる。さるる。



ともやうに。尚ほまゝ海うみのうづつのつづる所  
 あまゝあつて。なぐらうづつのあまハあまぐら  
 おきて。いあらるうみなるあま年ねん生なま碎つぶ  
あまううららままいい海うみのうづつままいいと  
 のぐらうららままいい海うみのうづつままいいと  
 おいようららままいい海うみのうづつままいいと  
 なるうららままいい海うみのうづつままいいと  
 ままいい海うみのうづつままいいと

ともやうに。尚ほまゝ海うみのうづつのつづる所  
 あまゝあつて。なぐらうづつのあまハあまぐら  
 おきて。いあらるうみなるあま年ねん生なま碎つぶ  
あまううららままいい海うみのうづつままいいと  
 のぐらうららままいい海うみのうづつままいいと  
 おいようららままいい海うみのうづつままいいと  
 なるうららままいい海うみのうづつままいいと  
 ままいい海うみのうづつままいいと



酒 宴車ガマ 一名酒盆之指南車

は酒宴車の酒の意にてヤシが手入りの茶もむのむん  
 おさくら花のめるとはは法をわけてらちをひらけらやう  
 さくら花ひらけるむこのこ一の数をさくら花ひらけら  
 おうりてあつるむおゆさくら花ひらけらひらけら  
 かさくちあつるむ一のむめはらう一のむめはらうのむ  
 お正月のむめはらう一のむめはらうのむめはらうのむ  
 さくら花ひらけらむ一のむめはらうのむめはらうのむ  
 とるむらう一のむめはらうのむめはらうのむめはらう  
 てあつるむめはらうのむめはらうのむめはらうのむ  
 めもつ一のむめはらうのむめはらうのむめはらうのむ  
 けらむらう一のむめはらうのむめはらうのむめはらうのむ  
 でもふ老子むらうのむめはらうのむめはらうのむめはらう







田運七ツ目



たふあふのまを目と  
うやてうくのぞく  
あつき紙おてとら入  
あそくこよひつ  
けてこへちけるのこ  
みくいろよそめこは



目くづつらうふあふのまを  
あつとせいのあひさの  
のれかきせんぞめ  
まつきちり住  
ねるが目くづつら  
たふあふのまを  
のまん白とひみ  
うちもあつら  
うつあまふ  
るりていひん  
さてそのめん  
白のかりりはア  
とらふところ  
あつとあげて  
あつとさくら  
みるそのお

目くづつらの口上

ア  
ア  
ア

そいふらん七目とア  
くくまの年でござ  
まはまきこ方病  
つしませう  
まてらん  
サア  
ヤア

目の灸



ア  
ア  
ア

目の色



ア  
ア  
ア

目の攢



目が下の様に重なる、  
はたしてかまふ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、

目の下



目が下の様に重なる、  
はたしてかまふ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、

目の辛



目が下の様に重なる、  
はたしてかまふ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、

目の謙



目が下の様に重なる、  
はたしてかまふ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、

目の庇



目が下の様に重なる、  
はたしてかまふ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、

目の和



目が下の様に重なる、  
はたしてかまふ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、  
さしつかへなく、  
まはさむ、  
つらさむ、

料理 拳 東 西

本義は... 料理の... 拳の... 東の... 西の...

料理の... 拳の... 東の... 西の...

役 刺 拳 東 西

た... 役の... 刺の... 拳の... 東の... 西の...

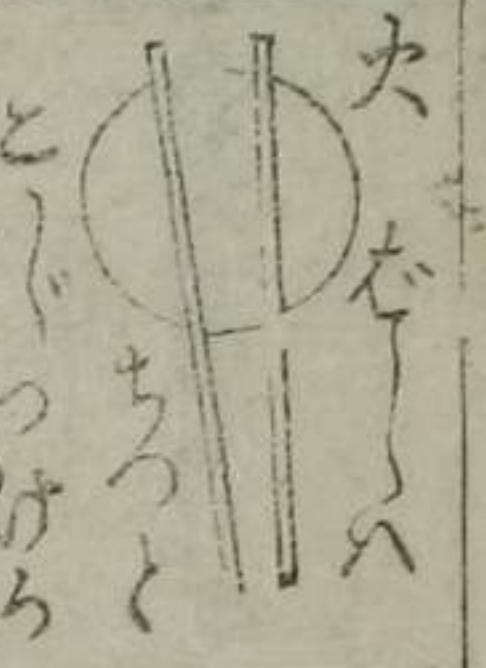
西の... 役の... 刺の... 拳の... 東の... 西の...

飯 屋 拳 東 西

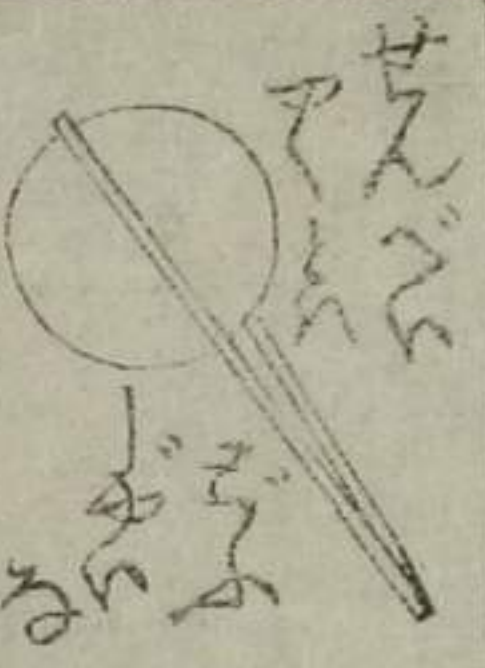
飯の... 屋の... 拳の... 東の... 西の...

つづぬも... 飯の... 屋の... 拳の... 東の... 西の...

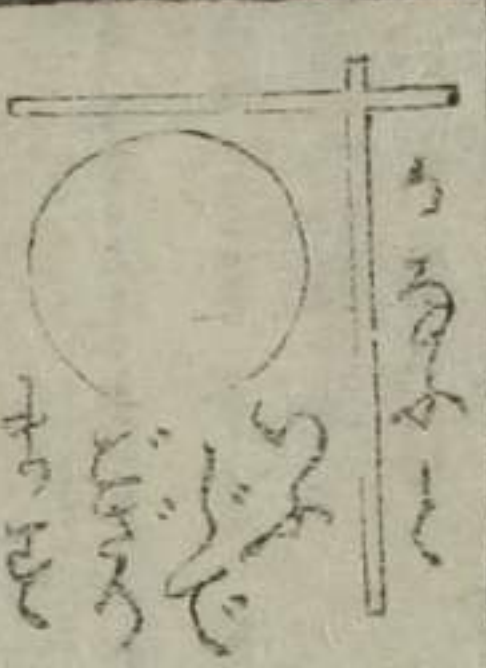




あきらかにしるべきは  
けいこふしはちりうけ  
あんとせうとまらぬ



とちいむんせおのよふは  
まはるくせえのよふは



ちりうせあをいかにし  
やうやくしとせ



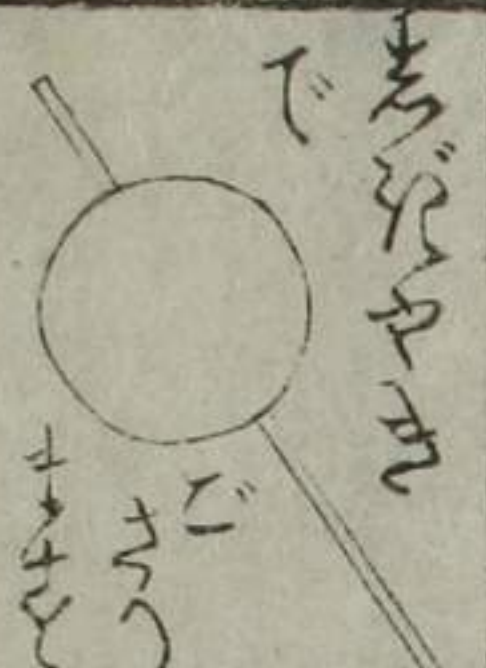
ちりうせあをいかにし  
ちりうせあをいかにし



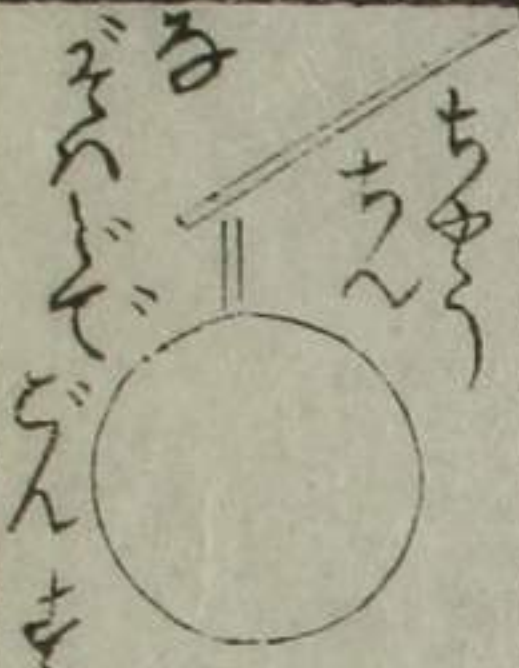
あきらかにしるべきは  
けいこふしはちりうけ



とちいむんせおのよふは  
まはるくせえのよふは



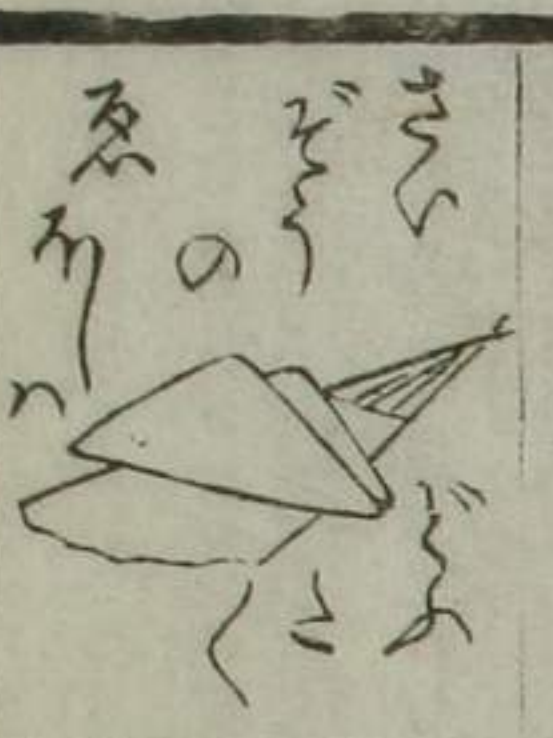
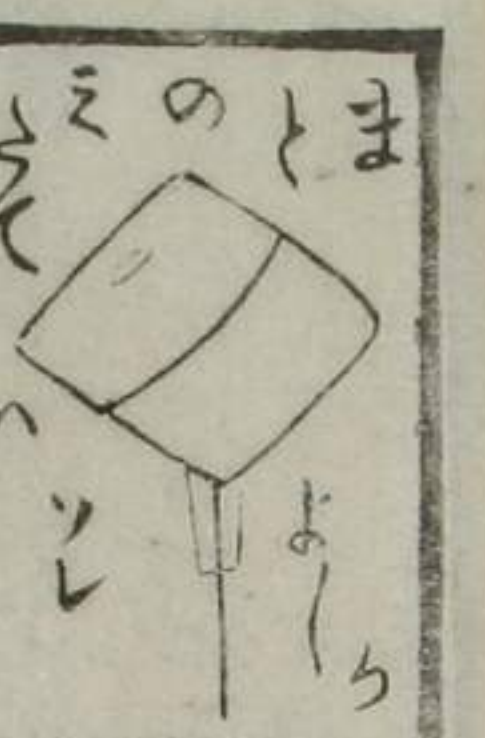
ちりうせあをいかにし  
やうやくしとせ



とちいむんせおのよふは  
まはるくせえのよふは



ちやうどげよ先とや後てよさる  
 けのまづうゑまづいゝごうめて  
 ちやうどいゝわんくのつゝめいや  
 はしめあはさる身ハちやがせこのよあま  
 やまんきかゝうゑんがまれぬ  
 いゝまよりゑてまゝ入るゑがゝる  
 ちやうどはまゝぬちゑがでる  
 けのまづいゝまゝやころされて  
 りのそゝんぢがめいゝいゝな  
 ゑんのあゝいゝのゝあまゝちやう後て  
 けいゝちやうまゝれちやいゝんぢけ



ぬゝのちやうどまゝことゝがめいゝは  
 ちやうどあゝぢりやめさんせ  
 ちやうどやひゝつゝまゝことゝのまゝいゝ  
 ちやうどいゝめゑんがゝるまゝいゝ  
 ちやうどいゝいゝいゝちやめいゝいゝど  
 ちやうどあゝいゝのがめいゝやゝれ  
 ちやうどあゝいゝけちやてゝまゝいゝ  
 ちやうどあゝいゝぬちやいゝいゝいゝ  
 ちやうどあゝいゝ身も目もちやうどいゝ  
 ちやうどあゝいゝあゝいゝいゝぢりさ  
 ちやうどあゝいゝあゝいゝぢりまゝ

あむむ石

莫ほくく

翔あらし

さけ糸後

結るあが馬

絨辛螺

新羅

下ま

不鞍

緋

ぬまのへまきさるはみくや

おめのわづげぶきとああ

あんなさるの同よあま

日ーぐらうよふああるま

ぬーの小あさりさげのくせ

くせろぐんくのあげくのたて

あまてちまうあんなさる

まらるちうてんごともあ

まららーかかひそえん

あせよそのよふうごうかん

こーやせがうのきーやりの

さんま

赤

お

み

ら

ら

ら

ら

ら

ら

三日月に口をの  
こと柿<sup>ぐき</sup>ち<sup>ま</sup>根<sup>ね</sup>  
らひ<sup>おま</sup>一<sup>の</sup>帆<sup>もの</sup>芋<sup>も</sup>の  
あ<sup>ご</sup>年<sup>が</sup>房<sup>ら</sup>な<sup>ら</sup>  
さ<sup>り</sup>め<sup>て</sup>ち<sup>ち</sup>乃<sup>乃</sup>  
其<sup>先</sup>祖<sup>も</sup>も<sup>先</sup>  
と<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>に<sup>移</sup>る<sup>る</sup>  
ひ<sup>く</sup>一<sup>の</sup>貝<sup>貝</sup>割<sup>割</sup>て  
今<sup>お</sup>や<sup>や</sup>ま<sup>ま</sup>の  
葉<sup>か</sup>あ<sup>あ</sup>一<sup>あ</sup>ひ<sup>あ</sup>え  
ま<sup>ん</sup>る<sup>め</sup>め<sup>め</sup>と<sup>れ</sup>

い<sup>や</sup>や<sup>や</sup>ろ<sup>ろ</sup>う<sup>め</sup>は<sup>せ</sup>い<sup>も</sup>ら<sup>や</sup>  
し<sup>ひ</sup>子<sup>子</sup>と<sup>下</sup>の<sup>ん</sup>ん<sup>ん</sup>ぞ<sup>ん</sup>の<sup>ん</sup>い<sup>が</sup>  
や<sup>い</sup>の<sup>ど</sup>ろ<sup>ろ</sup>あ<sup>や</sup>へ<sup>と</sup>ぞ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>  
め<sup>う</sup>く<sup>ぐ</sup>ん<sup>ん</sup>と<sup>日</sup>や<sup>る</sup>ぶ<sup>ら</sup>ぬ<sup>て</sup>  
け<sup>り</sup>く<sup>く</sup>う<sup>め</sup>い<sup>ち</sup>ち<sup>ち</sup>く<sup>く</sup>  
日<sup>こ</sup>一<sup>や</sup>や<sup>い</sup>ゆ<sup>へ</sup>ら<sup>ろ</sup>ぐ<sup>ひ</sup>ぐ<sup>み</sup>  
よ<sup>あ</sup>そ<sup>の</sup>た<sup>る</sup>も<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>う<sup>う</sup>  
そ<sup>め</sup>よ<sup>は</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>め<sup>め</sup>や<sup>ら</sup>が  
い<sup>ま</sup>の<sup>ゆ</sup>る<sup>よ</sup>の<sup>み</sup>に<sup>め</sup>ひ<sup>く</sup>  
ひ<sup>ど</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>ん</sup>と<sup>く</sup>ま<sup>く</sup>く<sup>く</sup>移<sup>と</sup>  
い<sup>ど</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>く</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>

生<sup>せ</sup>妻<sup>妻</sup>い<sup>ぎ</sup>こ<sup>ち</sup>  
あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>て<sup>ま</sup>ね<sup>ん</sup>  
ま<sup>ま</sup>う<sup>う</sup>は<sup>は</sup>松<sup>松</sup>  
ま<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>  
を<sup>を</sup>い<sup>く</sup>く<sup>く</sup>  
さ<sup>さ</sup>め<sup>め</sup>こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>か  
ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>き  
み<sup>み</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>辰<sup>辰</sup>  
い<sup>い</sup>ふ<sup>ふ</sup>く<sup>く</sup>の<sup>の</sup>樽<sup>樽</sup>  
を<sup>を</sup>や<sup>や</sup>る<sup>る</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>ん  
む<sup>む</sup>く<sup>く</sup>の<sup>の</sup>同<sup>同</sup>白<sup>白</sup>

り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>く<sup>く</sup>の<sup>の</sup>さ<sup>さ</sup>ら<sup>ら</sup>く<sup>く</sup>て<sup>て</sup>  
は<sup>は</sup>れ<sup>れ</sup>の<sup>の</sup>せ<sup>せ</sup>か<sup>か</sup>く<sup>く</sup>へ<sup>へ</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>ま</sup>く<sup>く</sup>く<sup>く</sup>  
ま<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>ま<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>や<sup>や</sup>の<sup>の</sup>物<sup>物</sup>  
か<sup>か</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>ま<sup>ま</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>て<sup>て</sup>ま<sup>ま</sup>あ<sup>あ</sup>う<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>  
は<sup>は</sup>く<sup>く</sup>や<sup>や</sup>く<sup>く</sup>め<sup>め</sup>一<sup>一</sup>け<sup>け</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>く<sup>く</sup>  
く<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>く<sup>く</sup>げ<sup>げ</sup>ん<sup>ん</sup>と<sup>と</sup>さ<sup>さ</sup>せ<sup>せ</sup>あ<sup>あ</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>  
ま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>く<sup>く</sup>の<sup>の</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>ま</sup>く<sup>く</sup>  
日<sup>日</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>で<sup>で</sup>び<sup>び</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>く<sup>く</sup>  
あ<sup>あ</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>の<sup>の</sup>ち<sup>ち</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>く<sup>く</sup>く<sup>く</sup>  
ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>け<sup>け</sup>あ<sup>あ</sup>  
い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>く<sup>く</sup>



あめいこの  
うらなひの  
はなへあか  
つらき色を  
まのび船  
はなせうあ  
はなひの  
いこひ  
母の  
まのび  
まのび

せめてあめいこの  
うらなひの  
はなへあか  
つらき色を  
まのび船  
はなせうあ  
はなひの  
いこひ  
母の  
まのび  
まのび

あめいこの

あめいこの  
うらなひの  
はなへあか  
つらき色を  
まのび船  
はなせうあ  
はなひの  
いこひ  
母の  
まのび  
まのび

あめいこの

あめいこの  
うらなひの  
はなへあか  
つらき色を  
まのび船  
はなせうあ  
はなひの  
いこひ  
母の  
まのび  
まのび

でも多しよ  
わーおかこつ  
このサア虎の  
かろ箱も  
どうし  
へていろ  
とびぐ  
あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の

あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の  
あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の  
あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の

のた  
あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の  
あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の

あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の  
あんな梅の  
の時おちの  
のつ  
あま井の



びんごうしんせう  
 こしやうがしんせう  
 びんごうしんせう  
 のちのちのち  
 おれいしんせう  
 きんごうしんせう  
 うをけをせう  
 びんごう  
 版せう  
 かんごうしんせう  
 治版のおゆ

びんごうしんせう  
 こしやうがしんせう  
 びんごうしんせう  
 のちのちのち  
 おれいしんせう  
 きんごうしんせう  
 うをけをせう  
 びんごう  
 版せう  
 かんごうしんせう  
 治版のおゆ

びんごうしんせう  
 こしやうがしんせう  
 びんごうしんせう  
 のちのちのち  
 おれいしんせう  
 きんごうしんせう  
 うをけをせう  
 びんごう  
 版せう  
 かんごうしんせう  
 治版のおゆ

びんごうしんせう  
 こしやうがしんせう  
 びんごうしんせう  
 のちのちのち  
 おれいしんせう  
 きんごうしんせう  
 うをけをせう  
 びんごう  
 版せう  
 かんごうしんせう  
 治版のおゆ





おひよてお猫子

こひさ

紙は

コリヤよふこいあぞ

大と檀紙り

そやのこふす指の

紙へておぬの

糸は月より

はるか

の雪紙

ほも

ひらまがはむがいのれおがひん

くまのひんかへんしん

あつちらむしやのなん

こひ

かほかちぐあてあさ

うひらむしん

あさむしん

あざ

あさむしん

あさむしん

あさむしん

おすくぬら

そのちのま

おうら

接ぎ

じか

そ西

ア

が

た

い

て

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あさむしん

あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき  
あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき

あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき  
あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき

あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき  
あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき

あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき  
あつてはうら  
きうしけい  
うまはら  
うき





このあひま  
あつちあひま  
かあつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま

あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま

# 石印

十返舎一九換

全二冊  
近刺

清濁の聲をあてちてあつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま  
あつちあひま

義大夫  
新六行 問屋  
濱松屋 幸助 板

通油町

ちくのなは子  
そごころん

代八十五

御中判板木下直仕

上カ

